

きよたまちづくり区民会議の概要と活動

清田区のまちづくりについて区民が集まって話し合い、考え、そして行動する。それが「きよたまちづくり区民会議」です。清田区のまちづくりの主役はここに暮らす私たち区民一人ひとり。その思いから、各地区町内会連合会をはじめさまざまな団体の代表者などが集まり、平成 20 年 3 月に設立しました。

区民会議の構成員

各地区町内会連合会（北野、清田中央、平岡、清田、里塚・美しが丘）、区体育指導委員会、区青少年育成委員会連絡協議会、清田地区商工振興会、区福祉のまち推進センター運営委員会、区 PTA 連合会、札幌清田ライオンズクラブ、小学校校長会清田支部、清田中学校校長会、区子ども会育成連合会など 17 団体の代表者等

区民会議は、各団体の情報を全体の情報として共有し、まちづくりに生かすことを目的としています。また、さまざまな視点から議論を重ね、各団体や区役所に対して、提言などを行っていかねばと考えています。

具体的な活動としては、定期的な会議開催に加え、毎年、清田区の誕生日である 11 月 4 日に区のまちづくりについて考える「清田区民フォーラム」を開催しています。

平成 22 年度は「地域の横の連携づくり」をテーマとし、地域で活躍する各団体同士が今以上に連携し、よりよいまちづくりを進めるためにどうしたらいいか検討を行いました。その取りかかりとして、実際に連携している事例や、地域で活躍している団体について、もっと区民に知ってもらいたいと考え、区民フォーラムで事例と団体の紹介を行いました。

さらに、そうした情報が詰まった冊子を作り多くの人に読んでもらったかどうかを考え、出来上がったのがこの冊子です。

冊子の製作にあたっては、区民会議の 5 人の幹事が編集委員となり、掲載する事例や団体について何度も検討を重ね、編集を進めました。

平成 23 年度の検討テーマは、「防災」です。

平成 22 年 12 月に、清田区付近を震源とする比較的大きな地震が発生しました。防災に対する区民の関心は高く、区民会議として何に取り組むことが効果的か、検討していきたいと考えています。



【きよたまちづくり区民会議の活動の履歴】

(平成 19 年度～ 22 年度)

[平成 19 年度]

きよたまちづくり区民会議設立 (平成20年3月19日)

[平成 20 年度]

やすらぎ歩行空間プランについて検討

- ・ 検討会設立準備会を設立

区民フォーラム開催 (平成20年11月4日)

- ・ 記念講演「地域に生きる」
元小樽運河を守る会会長 峯山富美氏
- ・ まちづくりディスカッション
「旧国道 36 号のあり方を考える
～やすらぎ歩行空間プラン～」

まちづくり活動報告会開催 (平成21年3月13日)

6 団体から活動の報告



まちづくり活動報告会

[平成 21 年度]

やすらぎ歩行空間プランについて検討

- ・ 検討委員会を設立

区民フォーラム開催 (平成21年11月4日)

- ・ やすらぎ歩行空間プランの中間報告
- ・ 各地区のまちづくり活動報告



旧国道 36 号 (やすらぎ歩行空間) の桜並木

[平成 22 年度]

検討テーマ「地域の横の連携づくり」

区民フォーラム開催 (平成22年11月4日)

- ・ 連携事例の紹介
清田中央地区地域安全パトロール隊
北野地区要援護者支援の取り組み
- ・ 地域で活動している団体の紹介

連携づくりに向けた冊子 (本冊子) の作成



区民フォーラム

[平成 23 年度]

検討テーマ「防災」